

学ぶところが輝く学校

茅ヶ崎市立汐見台小学校

学校だより 2月号

令和8年 2月 2日

校長 楠山 小百合



毎日厳しい寒さが続いています。でも、寒い冬を耐えれば、その後に暖かい春がめぐってきます。冬の寒さの中で、鮮やかな深紅の花をみせている寒椿に出会うと、厳しい寒さに耐えて凛としている姿に感動を覚えます。「厳しさに耐えることも必要だよ」と教えてくれているような気がします。

「汐小しょうゆ」づくりも、昨年春に仕込んだもろみが夏の暑さを越えて発酵が進み、1月22日(木)にしぼり、おいしい醤油になりました。子どもたちには給食で味わってもらいます。松浪コミュニティーセンターの「コミカフェ」などでも利用していただく予定です。地域の皆様にも子どもたちの愛情いっぱいの醤油を味わっていただきたいです。

2月12日(木)からは、各学年の授業参観・懇談会が始まります。子どもたちの成長した姿をご覧ください、ご家庭でもこの1年間を振り返り、子どもたちの頑張りをほめていただければと思います。

「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と言われています。気がつけば、今年度も残すところ2か月となりました。しっかりと気を引き締めて教育活動に取り組んでまいります。



1/28(水) 作曲家 富澤 裕先生をお招きして…

全国の小中学校の合唱指導に飛び回っている富澤 裕(とみざわ ゆたか)先生にお越しいただき、全校児童を低・中・高学年に分けての校歌の歌唱指導と、先生方への講演で音楽教育への想いを語っていただきました。当日は、校歌を作词・作曲されたアクアマリンのミマスさんもお招きし、参観していただきました。

校長から校歌を教材として歌唱指導をお願いしたのですが、それは1~6年生までみんなで歌える曲ということだけでなく、校歌を学校全体で歌うことの一体感、6年間大切に歌い続けながら母校への想いを感じてほしいという願いからです。そして、「歌うって楽しい!」と体感してほしいという想いからでした。



富澤先生は、ご自身のSNSの中でこの日のことにふれられていました。一部ご紹介します。

歌詞の意味を理解した時、彼らの目が変わる。素敵な歌だと好きになり、もっと上手に歌いたいと思った彼らは、指導で得た技術を直ちに歌に反映させ、ぐんぐん成長する姿を見せてくれた。

ミマスさんが作られた校歌は、子どもたちの心をつかむ素晴らしい歌だった。

教職員向けの講演会では、他校の先生方も多数来校され、子どもたちが能動的に学習に向かうためのお話など音楽教育だけでなく、様々な視点からの教育に関するご示唆をいただきました。

青い海、まぶしい空、松の緑、汐風 広がる夢を育てよう

絆を結び、みんなで語り合い、笑顔の花をさかせることができる学校

みんなが学ぶところが輝かせてほしい…

みんなで校歌への想いを大切にしていきたいと思います。



4年生 茅ヶ崎市より感謝状をいただきました (市ホームページ「日めぐり茅ヶ崎」より)

1月7日(水)、汐見台小学校4年生の児童より、募金活動で集まった23,774円を、ごみ減量化・資源化基金に対し寄附していただきましたので、感謝状の贈呈式を行いました。

今回の募金活動は、汐見台小学校4年生の児童が最終処分場や、環境事業センター、寒川広域リサイクルセンターを見学して、環境問題やごみの問題を学習したことをきっかけに、自分たちに何ができるかを考え、昨年11月16日(日)に開催しました、ちがさき環境フェアで取り組んだものです。

ちがさき環境フェア当日は、ごみやリサイクルに関する新聞や、クイズを展示して、来場者にリサイクルなどの取り組みの大切さを伝えると共に、募金いただいた方々に、花の種や折り紙で作った花などをお礼の品として、お渡ししました。

贈呈式で、子どもたちは、「募金活動は緊張したけど、「えらいね」「頑張ってたね」と声をかけてもらえて嬉しかった。」「ごみの問題について色々知ることができた。」「募金いただいた方にごみの問題やリサイクルの大切さを知ってもらえたら嬉しいです。」と話してくれました。市長からは、「寄附をしていただいてありがとうございます。大切に使用させていただきます。」と感謝の言葉を伝え、皆さんの取り組みについてお話を聞きました。最後は皆で、記念撮影をしました。

汐見台小学校4年生の皆さん、本当にありがとうございました。これからも様々な形で、環境に関する取り組みを続け、環境の輪を市内に広げてください。 <https://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/himekuri/1066416/1066441.html>

